

令和3年8月10日

都道府県印刷工業組合
理事長 各位

全日本印刷工業組合連合会
会長 滝澤光正

新型コロナウイルスの感染拡大に関わる対応について（第8報）

新型コロナウイルスの感染者が増加の一途を辿る中、特措法に基づく「緊急事態宣言」ならびに「まん延防止等重点措置」が今月31日まで、全国各地に発令・適用されました。

この状況下、全印工連では今後の会議、イベントについて、以下の通りの運営方針を決定しましたのでお知らせします。

各工組におかれましても地域の感染状況を踏まえながら、可能な限りの感染防止対策を講じた上で積極的な組合運営をお願いし、併せて、全印工連事業の推進につきましても、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. 全印工連の会議、委員会の開催、対応について

- (1) 三役会はコロナ禍に対応した全印工連事業全体の円滑な推進を図るため、当初計画の開催日以外にも毎月リモートで開催していますが、今後も毎月の開催を継続します。
- (2) 常任役員会はコロナ禍の影響による地域の実態を把握し、素早く全印工連事業に反映させるため、当初計画の開催日以外にも必要に応じて適時開催することとします。
- (3) これから順次開催される通常委員会は、引き続き、リモートでの参加も可能とするハイブリッド方式で開催します。

※なお、全印工連では、今後の事業推進を見据えて、役員、委員の皆様方には新型コロナウイルスワクチンの積極的な接種を推奨します。

2. 今後のイベント開催について

- (1) 9/10「全印工連CSRシンポジウム ～SDGsの視点からみた調達の将来像～」

和歌山県工組のご協力を得て、リアルとリモートのハイブリッド方式で予定通りに開催します。本シンポジウムは、「これからの官公需の調達」に新しい道筋をつける大きな意義のある内容となります。まだ、リモートでの参加申込を受付中ですので、積極的なご参加をお願い申し上げます。

- (2) 10/8「2020全日本印刷文化典長野大会」、10/9「理事長会」

本年度の文化典は、現地の出席者300名、リモート方式による参加者800名の計1,100名の参加目標を立て、予定通りに開催準備を進めています。また、翌日（9日）には理事長会を開催しますので、併せてご出席のご予定をお願い申し上げます。

以上